

死亡鶏羽数の報告ありがとうございます。引き続きお願いします！



家畜衛生だより

令和2年12月第26号（鶏）
東部・北部家畜防疫獣医師会
（公社）千葉県畜産協会
東部家畜保健衛生所
TEL：0475（52）4101
FAX：0475（52）3335
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kh-toubu/index.html>

宮崎県で高病原性鳥インフルエンザ 疑似患畜確認（国内11例目）

【概要】

所在地：宮崎県 日向市

飼養状況：肉用鶏（約4万羽）

経緯：11月30日、死亡鶏増加の通報、農場へ立入。簡易検査で陽性。
12月1日、遺伝子検査でH5亜型を確認。

大陸を渡ったH5N8亜型 高病原性鳥インフルエンザ

農研機構動物衛生研究部門によると、香川県で発生した1例目と2例目の原因ウイルスのゲノム解析を行った結果、昨冬にヨーロッパで流行したH5N8亜型高病原性鳥インフルエンザウイルスが、今年の秋に渡り鳥と共に大陸を渡って日本に侵入したと考えられます。

養鶏密集地域において環境中にウイルス量が増大

農水省の専門家会議によると、香川県での続発事例において、疫学調査チームが指摘している小型野生動物の侵入、人・物等の疫学関連による伝播の可能性のほか、ため池等の地理的状況から、野鳥の集団が持ち込んだウイルス量が環境中で高まっていること、また、養鶏密集地域において環境中のウイルス量が増大していったこと等が想定されています。

自農場にウイルスを侵入させない！地域の養鶏を守ることもなります。

今シーズンは、海外でも発生が続き、国内の野鳥でも相次いでウイルスが確認されていることから、全国的に例年よりリスクが高い状況にあることを意識し、飼養衛生管理を徹底し、更なる警戒に努める必要があります。

香川県の事例では、死亡数の増加、死亡鶏の肉冠の黒赤色化が見られています

疑わしい症状があれば速やかに獣医師や家畜保健衛生所に連絡を！

東部家畜保健衛生所 Tel.0475-52-4101

※夜間・休日は転送されますので、必ず5回以上コールしてください

野鳥においても6、7例目発生！





鳥インフルエンザウイルスを入れないために徹底を！

1

出入車両消毒確認



CHECK!

出荷トラック・飼料運搬車・診療車・死亡鶏運搬車・動物薬販売車・プロパンガス業者・工事業者など

2

立入者衣服交換・消毒

衛生管理区域 (畜舎等)立入者
ex 獣医師・袋飼料配送者



CHECK!

農場専用の服・長靴

家きん舎専用の服・長靴

手指・長靴の消毒

踏込み消毒、消毒槽点検

3

鶏舎の再点検 防鳥ネット・鶏舎隙間の補修

CHECK!

※防鳥ネットの網目の大きさは2cm以下又はこれと同等の効果を有するもの

4

毎日の健康観察、早期発見・早期通報

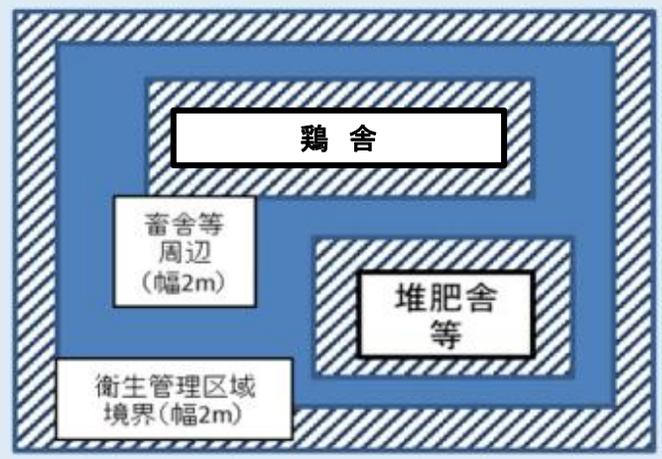
家きんの特定症状を念頭に健康観察。
異状があればすぐに家畜保健衛生所に通報。

CHECK!

《消石灰を散布しましょう》

○効果

- 高病原性鳥インフルエンザウイルスに対する消毒効果とともに、ネズミ等の野生動物に忌避効果がある(嫌がって近寄らない)
- ネズミ等の野生動物が侵入したかどうか、また、どこから侵入したのかが足跡等でわかりやすくなる



- 畜舎周囲と農場外縁部 (出入口の外周を含む) は2m以上の幅で地面が白く覆われるよう定期的に石灰を散布する。
- 散布量の目安は、1㎡当たり0.5~1.0kg (2m幅の場合、1袋で約15m)。
- 繰り返し雨や水に濡れてしまうと、消毒効果がなくなる。
- 消石灰は強アルカリ性のため、マスク・手袋を着用して散布する。
- 併せて、殺鼠剤及び殺虫剤の散布によるネズミ、昆虫等の駆除を行う。